

(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

令和元年10月1日

①学校名:	徳島 大学(国立)	②所在地:	徳島県徳島市新蔵町2丁目24番地		
③課程名:	四国防災・危機管理プログラム 行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース	④正規課程/履修 証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2020/4/1
⑥責任者:	環境防災研究センター長 中野 晋	⑦定員:	10人	⑧期間:	2年間
⑨申請する課程 の目的・概要:	「四国防災・危機管理プログラム」は、東日本大震災を踏まえて、大規模広域災害やグローバル化する危機に対して適切に対応できる専門家の養成を目標としています。南海トラフ巨大地震の発生が想定される中、香川大学と徳島大学は、「防災士養成講座」や「建設業BCP策定支援」等の連携実績、成果を活用して、香川県と徳島県の協力の下に新たなプログラムを開設し、社会が必要とする実践力を備えた防災・危機管理の専門家を養成します。 本プログラムは、各大学研究科・専攻科横断型のプログラムとして開講されます。コース修了によって各大学研究科・専攻科の修了となるものではありませんが、プログラムを修了することにより各コース内容に沿った専門知識を身につけることができます。また、コース修了にあたっては、香川大学長、徳島大学長連名の修了証書と四国防災共同教育センター長名の「災害・危機対応マネージャー®」の称号が授与されます。				
⑩4テーマへの 該当の有無	地方創生 (地域活性化)	⑪履修資格:	① 大学を卒業した者 ② 大学院において、個別の入学資格審査(書類・面接)により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者		
⑫対象とする職 業の種類:	対象とする職業等は問いません。 地域社会を構成する自治体・企業・医療機関等の地域組織のリスクマネジメント、事業継続計画BCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指しています。				
⑬身に付けるこ とのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・リスクコミュニケーション、危機管理、災害時の健康管理とメンタルヘルスケア、リスクマネジメント、事業継続計画に関する知識 ・DIG、HUGのような参加者に主体的に考えさせる訓練の企画・運営の技術や、メンタルヘルスケアのためのカウンセリング技能		(得られる能力) ・地域や組織の防災に関する各種訓練を企画、運営できる能力 ・被災者の心のケアが出来るカウンセリング能力		
⑭教育課程:	※科目や授業方法を例示しながら具体的に記載してください。 ・「リスクコミュニケーション」や「危機管理学」、「行政・企業のリスクマネジメント」等により、危機的な状況の発生の予防・回避のための事前対応力、危機発生後に被害を最小化するための事後のリスクコミュニケーションや対処行動、復旧・復興計画について過去の災害課題や対処事例等から修得する。 ・「メンタルヘルスケア」や「防災・危機管理実習」等において、受講生が様々な訓練のプレーヤーと運営者、被災者とカウンセラーを体験することで、効果的なロールプレー等の訓練を企画、運営できる実践力を身につけさせる。 ・「事業継続計画の策定と実践」では企業などの実務家教員や実務家による講義、グループワークでのリアルな組織を想定した事業継続計画の策定演習により、事業継続計画の策定、策定した計画の実効性の確保に必要な知識を習得させる。				
⑮修了要件(修 了授業時数等):	指定された科目を12単位以上修得				
⑯修了時に付与さ れる学位・資格等:	履修証明書、修了証書、災害・危機対応マネージャー®(日本特許庁商標登録認証を受けた民間資格)				
⑰総授業時数:	12 単位	⑱要件該当授 業時数:	12	該当 要件 双方向、 実務家、 実地	⑲要件該当授業時数 /総授業時数: 100%

⑳成績評価の方法:	科目の単位認定は、出席状況及び筆記若しくは口頭による試験又はレポート等により行います。
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。「四国防災共同教育センター運営・評価委員会」において、本プログラムの成果の検証や評価を行う。また、当該検証・評価結果についてはホームページにおいて公表する。
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	本プログラムの修了生を主な構成員として設置している「特別活動法人災害・危機対応支援センター」により、修了生のフォローアップや活動支援を行うと共に、活動報告を収集・整理することにより効果を検証する。
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成) 香川大学、徳島大学、香川県(政策部地域活力推進課)及び徳島県(危機管理部危機管理政策課)により組織する四国防災共同教育センター運営・評価委員会(会議)において、行政担当者と減災、復旧・復興対応や組織・地域再生においてリーダーシップを発揮できる専門家養成について協議を行うことにより、教育課程の編成に企業等の意見を取り入れる。</p> <p>(自己点検・評価) 四国防災共同教育センター運営・評価委員会(会議)において、修了生の意見等を踏まえた現状分析、評価及び改善について協議することにより、自己点検・評価を行い、企業等の意見を反映させる。</p>
㉔社会人が受講しやすい工夫:	<p>平日の授業は、すべて夕方・夜間(①16:20～17:50、②18:30～20:00)に開講している。</p> <p>香川大学(創造工学部、医学部)と徳島大学の3地点で遠隔講義(オンライン)を行っている。</p> <p>実習等は土・日に実施している。</p> <p>欠席時の補習や復習のため、収録した授業DVDを貸し出ししている。</p>
㉕ホームページ:	(URL) https://www.kagawa-u.ac.jp/dpec/